



行役所 村刷 発東印 北洋印 場刷 株式会社

新年に寄せて

村長 小泉 充

人生根帯無し 飄として陥上の塵の如し 分散風を遂うて転す 此れ已に常身に非ず 地に落ちて兄弟と為る

何ぞ骨肉の親のみならん 欲を得ば当に染しみ作すべし 斗酒比隣を聚む 一日再び農なり難し 時に及んで当に勉励すべし 歳月人を待たず (陶淵明)

あつとゆう間に又一一年が過ぎ新しい昭和四十三年を迎える事となった。あれもしたい、これもしたい、と気が急ぎ年々も思うにまかせぬ一年であった。

新しい年を迎え今年こそは、の氣概に燃えて頑張りたいと存じます。どうか本年もよろしく御願ひ申上げます。

お正月……忙中閑ありで、しとしと、と音も無く降りそそぐ雪を窓外に眺め、静寂を楽しむ心のゆとりも、正月ならではの味わえないものかも知れません。

心静かに過ぎし昔を想い出し回想に耽ける。これも人生にとり決して無駄なことではないと信じています。歳月人を待たず、もうあれから二十三年もたったのに、ついこの間のこの様に感じられてならぬ。

あの年は年末から年始にかけて随分の大雪であった。鉄道は各地で寸断され、道路は今と違って、車などまったく途絶、人間の足に頼るほかない年であった。

屋根の雪降しも数回に及び、雪

は軒下よりも高く、私の記憶では五年前、新潟県下を襲った豪雪それ以上だと記憶している。当時物資の欠乏はその極に達し、国民総菜喪失調の時代であった。私はこの年の一月四日、現役として新発田に入隊したのである。

送別会といったもの御馳走もない、僅かばかりの配給の酒と濁酒とで心づくしの送別の宴、県道端には一祝入營、小泉充君の旗がはためいている。それぞれの方々がやと通れる位いの細い雪道が多勢の方々から越後管根駅まで送ってもらったのである。私の他にも入營する人があるので管根駅頭は混雑を極めていた。軍歌の合唱が随所から流れてくる。当時は毎日の如く駅頭にはこの様な光景があったのである。やがて時間となり、汽車は黒煙をはきながらプラットフォームに入ってくる。

誰の首頭か記憶に無いが「小泉充君万歳／＼」が三唱された。「しっかりやってこいよ／＼」励しの声も飛んでくる。スプア入りの国民服に身をかため、不動の姿勢で答礼した。あのときの光景は永久に私の脳裏から忘れ去ることは無いであろう。

発車の合図で汽車は静かにホームを離れてゆく。いつまでもいつまでも手を振って見送って、これで行く人々の姿もやがて彼方に消えて行く。何んとも言えぬ淋しさを脳み締めつめた気持も暫くすると張で張りつめた気持も暫くすると自然と自分をとりもどして行く。

先輩からいつも聞かされている言葉「現役で行ったときも召集で行ったときも何時も同じ気持を感じるんだ、汽車が走り出し角田山弥彦山がだんだん遠くなり遂には

見えなくなる、この時は何んとも言われん気持になるもんだ。」この言葉が実感として、ひしひしと胸に迫ってくる。今迄は何んか胸に眺めていたこの山が何んか形容し難い気持を抱かせるのである。か。……「俺はふたたびこの山を見る事が出来るであろうか。」召されて行く以上死は覚悟の上、とは承知しながらも、生きて還りたいと希う気持が遠く去りゆく角田、弥彦の山々に人しれぬ思慕を懐かせるのであった。

男と生れた以上、二十歳になれば徴兵検査を受け兵隊に行く、何んかの抵抗も感ぜずこれがあたりまえだと思っていた。二年間の義務教育が終ればやと一人前の男として社会に通用するんだ、これが我々の時代には共通した考え方であった。が然し、戦争は我れに利非ず二年間で除隊出来たなどとは誰しも思っていない。いつ還れるか、あてのない軍隊生活結局は生きて帰れないのさ、誰も口にごそ出さねど皆同じ気持であったと思う。

戦争は負けた。負けづ嫌いの日本人は敗戦と言わず終戦と言ったが敗けた事に言いわけはないのである。人の一生にとり大事な時期を軍隊生活で終った人もある。又希望に燃え将来を夢みながら戦場に散った人もいる。

あれから二十三年目を迎えた。日本は今、平和な国だ、世界で一番自由のある国だと言われている。平和を好まない民族はない、然し、いざんとして世界の一角で戦争は続いている。

日本の現状はこれでのいいのだろうか、戦争と云う苦しい体験をした世代と軍隊と云う言葉すら知らない世代とが、ともに調和を求めて秩序ある平和を望みたいものだ。角田・弥彦の峯々は今も変わらぬ英姿で聳えている。

戦争など何も知らぬ、とゆう顔をして。

就任の挨拶

小林 貫以智

歳月まことに人を待ちません... 清水の舞台より飛びおりる気持で...

村長に對しては... 役場職員に對しては... 村民各位に對しては...

おのずから溢れてまいります... 明く豊かな村造りを...

住民異動届出制度が改正されました

新しい住民基本台帳制度が去る十一月十日から実施されました...

1、住所や世帯の変更したときの届出が一本化され手続が簡単になりました...

2、手続は次のとおりです。 (1) 転出届 他市の町村へ住所を移す場合には...

(2) 転入届 市の町村から住所を移した場合は、その転入をした日から十四日以内に...

(3) 世帯変更届 世帯主が変わったり、世帯の構成が変更した場合には、その変更があった日から十四日以内に...

(4) 選挙人名簿への登録の届出 選挙人名簿の登録の届出は、住所を移す場合は...

火の元に (一) 注意

転入・転出届するとき

印鑑・保険証・年金加入者は年金手帳忘れずに



1968年元旦

謹賀新年

役場

村役長 小泉 貫以智 助役 岡本 和雄 収入役 大沼 和雄...

保健婦 小黒 幸子 住民課長 佐藤 貞吉 係長 山岸 幸忠...

総務課長 井方 随 係長 丸山 友次 係長 石井 末三郎...

第三分団長 小口 忠英 第四分団長 小島 治雄 第五分団長 石井 秀三郎...

国民年金委員 大曾根 甲 係長 丸山 友次 係長 石井 末三郎...

